

特別養護老人ホーム「杜の家」

平成 25 年度事業報告

重点取組課題

- 1 人材確保及び育成
- 2 施設運営基盤の整備促進
- 3 入居者へのケアの充実

1 人材確保及び育成

介護に従事する職員の慢性的不足状況の中、施設運営の安定化及びケアの質の向上を図るため、職員の労働環境の整備と継続的な研修により、優秀な人材の確保と育成に努力する。

成 果

職員の労働環境の整備として次の事業を行った。

① 就業規則の改正

- ・ 特別休暇日数の延長
結婚休暇 4日 ⇒ 5日
忌引休暇 4日 ⇒ 5日（配偶者）
- ・ 労働災害に対する補償の充実
任意保険への加入

② 給与規程の改正

- ・ キャリアパスを導入した給与体系への変更
- ・ 資格手当、管理職・役職手当の新設
- ・ 年末年始特別手当の新設

③ 資格取得助成制度の創設

人材育成の一環として、職員の資格取得を支援する制度を設けた。

平成 25 年度介護福祉士試験合格者 3名

2 施設運営基盤の整備

① 施設内ルールの整備促進

設立後 1 年間の実績を基に、既存のルールを実態に即したものに改善、より効果的な運用を図る。

成 果

職場改善委員会を設置し、職員代表と管理者による協議を行うことにより、勤務の実態に即した施設内ルールを策定している。

② 各種委員会及び会議の充実

現在開催中の各種委員会及び会議の実効性を確保するため、議事録等を整備し、進捗状況を随時確認する。

成 果

委員会の構成を再編し、職員が責任をもって委員会の運営を行い、実効性が伴う体制とした。

③ 計画的な入居受入れ

入居待機者の速やかな受入れを図るため、受入れ手続きを計画的に行い、施設運営の安定化を目指す。

成 果

入居者のアセスメントや健康診断など入居に必要となる手続きを、入居予定者ごとに時系列に整理し、迅速で効率的な入居を図った。

平成25年度入居率 91, 0%

④ 入居者及び家族との積極的なコミュニケーション

施設長を先頭に施設の全職員が、入居者及び家族と会話する努力を行い、信頼関係の構築を図る。

成 果

職員全員が、入居者や家族とのコミュニケーションの端緒として、積極的に笑顔で挨拶することを心がけている。

また、より一層のコミュニケーションを図ることを目的に、平成26年度から入居者家族を対象とした「家族会」を開催する。

3 入居者へのケアの充実

① 24時間シートの充実

24時間シートに即した介護を促進し、入居者に心身の状態や趣味嗜好を活かしたケアを行う。

成 果

ユニット職員が入居者個人の一日の流れを的確に把握し、個々に合わせたスムーズなケアの実現が可能となった。

また、各課との密な連携により、趣味嗜好を活かしたケアを実現する体制を構築した。

② 介護技術の向上

介護技術に関する資格取得を促進するとともに、食事、入浴、排泄等介護技術の向上を目的に定期的な職場研修を実施する。

成 果

人材育成の一環として、職員の資格取得を支援する制度を設けた。
平成25年度介護福祉士試験合格社 3名

また、各委員会を通じて定期的な職場実技研修を実施し、介護技術の向上を図った。

③ 看護体制の充実

今後、医療行為を要する入居者が増加することを想定し、看護体制を充実し医療に対するニーズに応える体制作りを行う。

成 果

看護職員を4名増員し7名とした。また、これに伴い平成26年2月より試験的に夜間の看護体制を実施している。

④ 充実した入居生活の促進

入居者と施設職員が協働し、入居者が生きがいをもって生活できるよう、多様な資源を活用し入居生活の充実を図る。

また、地域に根ざした施設を実現するため、地域ボランティアや関係者との連携を強化する。

成 果

施設内のクラブ活動として、映画鑑賞クラブ、カラオケクラブ、美容クラブを発足した。

また、傾聴ボランティアをはじめ、近隣幼稚園及び地域クラブサークルの各種施設内行事への参加を行った。

施設内に農園を建設し、26年度地域の方々と連携を図り、職員、入居者が協働して農作を行うこととした。

入居者情報

定員 100 名

入居者 98 名（平成 26 年 3 月 31 日現在）

毎月 1 日現在

年月	入居者数	要介護 1		要介護 2		要介護 3		要介護 4		要介護 5		介護度
		市内	市外									
25 年 4 月	83	8	0	13	3	27	4	16	3	6	3	3.06
25 年 5 月	87	12	0	8	5	28	2	15	4	9	4	3.09
25 年 6 月	90	11	0	10	6	27	2	18	4	9	3	3.09
25 年 7 月	88	11	1	10	6	25	2	18	3	9	3	3.06
25 年 8 月	89	11	1	10	6	26	2	18	3	9	3	3.06
25 年 9 月	93	13	1	10	6	26	2	18	3	11	3	3.05
25 年 10 月	95	14	1	10	6	27	2	18	3	11	3	3.03
25 年 11 月	93	14	1	10	5	26	2	18	3	11	3	3.04
25 年 12 月	93	14	1	10	5	26	2	18	3	11	3	3.04
26 年 1 月	93	12	1	10	5	23	2	22	3	12	3	3.15
26 年 2 月	94	12	1	10	5	24	2	22	2	13	3	3.16
26 年 3 月	93	14	2	8	2	25	5	17	2	12	6	3.14
26 年 4 月	98	14	2	10	2	28	5	17	2	12	6	3.11

退去者

前年度：16名（在宅復帰 2名 入院・転院 10名 入院・死亡 4名）
今年度：20名（在宅復帰 2名 入院・転院 12名 入院・死亡 6名）

職員状況 99名

施設長

副施設長（機能訓練指導員兼務）

事務長

生活相談員（生活支援課長）

介護支援相談員 2名（入居支援課長）

介護リーダー 2名（生活支援係長）

ユニットリーダー 11名（生活支援課主任）

ユニット職員（正職員） 42名 ユニット職員（パート） 10名

看護師 2名 准看護師 5名

管理栄養士 2名 栄養士 1名

厨房職員（正職員） 4名 厨房職員（パート） 6名

事務員 2名 施設管理員 洗濯（パート） 3名

夜警職員 2名

職員資格取得情報

理学療法士 1名 社会福祉士 1名 介護支援専門員 4名

介護福祉士 18名 介護職員基礎研修 5名 介護職員初任者研修 2名

ヘルパー1級 1名 ヘルパー2級 27名

看護師 2名 准看護師 5名

管理栄養士 2名 栄養士 1名 調理師 1名

事故報告

北九州市への報告義務（病院受診）がある事故件数 9件 前年 17件
施設内規程事故件数 167件 前年 197件

施設内規程の例

転倒での事例 職員が転倒しようとしている入居者へ介助し怪我は発生しなかったが、入居者がしりもちをついた時点で事故と認定する。

軽微なことでも事故と認定することにより、より一層職員の意識を高め、入居者様の安全を確保する目的でリスク委員会を中心に取り組んでいる。

苦情に関して

施設に関する苦情	1件	前年	2件
職員に関する苦情	10件	前年	19件

総括

平成 25 年度重点取り組み課題に対して、着実に成果をあげていくことができた。その結果として職員の増加による手厚い介護により事故件数の減少、苦情件数の減少があげられる。平成 26 年度も事業計画に則って入居者様にたいしてより良い施設となるよう職員一同力を合わせて作り上げていく。